

清地村深井家文書4 「幸手領内鏡」

(表紙)

「 幸手領内鏡

深井家文書

」

はじめに

本編は「幸手領内鏡」「羽生領門樋故障願出」「清地村地内水防」の三編を用水関係の史料としてまとめました。農業用水は水田耕作を基本とする農業で、絶対的なものです。

その用水を如何に利用できるかという水との戦いが用水の歴史であると言われていきます。

近世農村の成立とともに村を単位とした水利組織を結成しました。

「幸手領内鏡」は用水組合の運営・管理・維持をどのようにしていたかを具体的に記したものです。

また、「羽生領門樋故障願出」には宮代町付近の村とその支配者名が記され「清地村地内水防」は費用の割り当てを永(えい・貨幣)で行っているのが特徴です。

## 目次

はじめに

幸手領内鏡

堤通組合

中郷用水路組合

庄内古川組合

深井新川西堤組合

倉松落組合

九ヶ領半組合

深井新川・下郷・上郷村々

四ヶ村落・南側用水路

権現堂川通り

本川俣井筋間数改

上戸村掛渡井組合

御伝馬杉戸宿定助郷

南側用水路

清地村内

絵図

羽生領門樋表紙

乍恐以書付奉願上候

悪水落堀新規御模様替御差止願

乍恐以書付奉願上候

乍恐以書付奉願上候

乍恐以書付奉願上候

清地村地内水防

おわりに

平須賀村外  
不動院野村外  
神扇村外

(表紙)

「 幸手領内鏡

」

(裏表紙)

「 武州

葛飾郡清地邑

深井浅石衛門

」

堤通組合

人足割

一高式万五千式百八拾八石

四斗三升九合九勺

諸色割

一高式万五千六拾四石

五斗壹升四合三勺

水防割

一高式万六千四拾四石

七斗五升五合九勺

二百十日浸水扶助合割

一高式万式千式百六拾三石

式斗六升

川俣并筋十ヶ領組合

人足割

一高式万七千五百拾石

七斗九升壹合

諸色割

一高二万四千二百七拾壹石

壹斗式升五合

同九ヶ領半組合

人足割

一高壹万四千六百七拾七石

八斗壹升六合四勺

諸色割

一高一万三千百六石

九升六合四勺

南側用水組合

人足割

一高八千百十三石

八斗一升五勺

諸色割

一高七千五百三拾四石

二斗一升壹合五勺

中郷用水路組合

四拾七ヶ村

三拾三ヶ村

三拾一ヶ村

五拾一ヶ村

四拾九ヶ村

五拾ヶ村

四拾ヶ村

四拾九ヶ村

拾五ヶ村

拾四ヶ村

人足割

一高五千二百七十八石

九斗四升九勺

拾七ヶ村

諸色割

一高五千七十二石

八斗九勺

拾六ヶ村

**北側用水路組合**

人足割

一高一万千七百七十五石

二斗七升五合九勺

三拾三ヶ村

諸色割

一高一万千九百九十七石

七斗五升七合五勺

**往還組合**

人足割

一高貳万四千貳百八石

九斗三合七勺

四拾八ヶ村

諸色割

一高貳万五千六拾五石

四拾九ヶ村

貳斗壹升九合七勺

**庄内古川組合**

人足割

一高貳万七百三拾壹石

五斗貳升貳合

四拾六ヶ村

諸色割

一高壹万八千三百八拾六石

貳斗五升五合

**深井新川西堤組合**

一高貳万六千四百四拾四石

七斗五升五合九勺

五十三ヶ村

**倉松落組合**

一高壹万七千貳百六拾八石

五斗四合

三拾五ヶ村

但 幸手 杉戸半高除之八甫村

高除諸色八八甫村高入

**安戸落組合**

一高老万四千五百九拾三石 三拾五ヶ村

但 壹斗五升三合  
除高倉松落同斷

**上扇落組合**

一高四千三百四拾九石 拾三ヶ村  
八斗六升三合

**関宿往還組合**

一高式万三千九百四拾六石 四拾八ヶ村  
壹斗式升壹合七勺

但 幸手 杉戸 八甫 栗原  
高除諸色八八甫村高入

**川俣井筋十ヶ領組合**

一高拾三万式千七百四拾四石五斗三升

内

高式万七千五百七石六斗壹升 幸手領  
高老万九千七百八拾壹石式斗六升 二郷半領  
高老万九千五百拾壹石壹升 八条領  
高老万七千七百七拾式石四斗四升 下之割  
高老万式千六百三拾八石六升 上之割

高老万式千四百九拾式石七斗五升 松伏領

高老万七拾九石八斗式升 西葛西領

高七千四百九拾八石七斗五升 新形領

高三千四百拾四石八斗二升 淵江領

高千八百八石六斗 谷古田領

**同九ヶ領半組合**

一高拾一万九千八百七拾七石式斗式升五合二勺

内

高老万四千六百三拾八石四斗九升九合壹勺

幸手領引外領々八前々通り

**庄内古川領々組合**

一高四万四千四百二拾六石壹斗三合

加藤落合組合新規加入共々

内

高式万七百六拾壹石式斗五升式合 幸手領

内老万九千七百七拾九石

八斗三升五合 上・中郷

千五百八拾壹石四斗壹升七合 下五ヶ村

高式千拾三石式斗壹升壹合 松伏領

高千八百七拾六石九斗八升六合 惣新田領

高老万六千三百四拾六石

二斗七升五合 庄内領

内老万千式百七拾五石六斗五升 上

五千七拾石六斗式升五合 下

高四百式拾八石三斗七升九合 小金領平方新田

深井新田

加藤落合堀繼御普請二付新規組合

加入高役相勤候取極二相成候

寛政九巳年より

深井新川西堤領々組合

一高七万千百四石壹斗四升八合九勺

内

高壹万式千八百六拾式石

松伏領

四斗四升八合

高壹万八千三百五十五石

庄内領

壹斗九升八合式勺

高壹万九千七百八拾壹石

二郷半領

式斗四升六合

高式万六千四百拾五石

幸手領

式斗五升六合五勺

但 幸手 杉戸兩宿半高八甫村

栗原村兩村高入

下郷村々

一高千五百五拾九石壹斗八升

杉戸宿

拾ヶ領 九ヶ領半 南側

倉松 安戸 庄内

高五百七拾九石五斗九升

高三百八拾六石三斗九升三合

堤通 深井

諸所其々人足斗リ諸色ハ除ク  
御入用御普請之節ハ人足諸色  
トモ惣高二掛ル

一高七百七拾九石式斗六升五合

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 南側 深井

倉松

清地村

一高五百五拾六石三斗三升八合

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 南側 深井

庄内 安戸 倉松

倉松村

一高二千五百七拾七石五斗四升四合

内

高千九百三拾式石六斗三升

五合五勺

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 深井

高千五百五拾三石七升七合三勺

高三百七拾九石五斗五升八合五勺

高三百五拾石

堤根村

本堤根株

南側 中郷

安戸

高二千二百二拾七石五斗四升四合

庄内 倉松

高六百四拾四石九斗六合五勺

上堤根株

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半

高六百二十六石二斗六升壹合貳勺

南側

高拾八石六斗四升六合壹勺

中郷

一高六百三拾六石五斗三升八合

本郷村

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 深井 倉松

高五百八拾石六斗五升六合

南側

高五拾五石八斗八升貳合

中郷

一高六百二十五石四升四合

小淵村

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 深井 倉松

南側

一高四百六拾七石八斗貳升七合

八町目村

堤通 往還 深井

高二百三拾石六斗貳升五合

拾ヶ領 九ヶ領半 南側

倉松

高貳百三拾七石貳斗壹合

庄内

一高貳百九拾四石三升貳合

樋籠村

堤通 往還 深井

庄内

一高六百三拾九石三斗六升壹合

不動院野村

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 深井

高百貳拾九石六斗八升六合

高五百九石六斗七升五合

高三百拾九石六斗八升

南側

倉松 安戸 庄内

一高三百九拾九石八斗七升

大塚村

堤通 往還 拾ヶ領

深井 庄内

高百貳拾七石七斗四升三合

九ヶ領半

中郷

高二百七拾貳石壹斗貳升七合

北側

高貳百石壹斗七升九合

安戸

一高三百三拾石六斗三升四合

蓮沼村

堤通 往還 拾ヶ領

庄内 深井

高貳百六拾六石四斗八升六合

九ヶ領半

中郷

高六拾四石壹斗四升八合

北側

高百三拾石

安戸

一高七百七拾七石三斗七升六合

才羽村

堤通 往還 拾ヶ領

深井 庄内

高六拾九石九斗六升壹合貳勺

高百四拾壹石八斗九升六合四勺

高貳百拾三石八斗五升七合六勺

高五百六拾三石五斗壹升七合九勺

高百九拾八石五斗九升

南側

中郷

九ヶ領半

北側

安戸

一高七百四拾貳石八斗三升六合

堤通 往還 拾ヶ領

深井

高三百七拾七石六斗四升壹勺

高三百六拾貳石九斗三合六勺

高拾五石三斗貳升

高三百七石壹升貳合

高百三拾九石八斗貳升五合

高七百貳拾七石貳斗壹升壹合

並塚村

九ヶ領半

南側

北側

倉松

安戸

神扇

庄内

佐左衛門村

一高千四拾八石四斗三升八合

堤通 往還 拾ヶ領

深井 庄内

高六百貳拾八石三斗八合

高四百貳拾石壹斗三升

高六百五拾石

高三百九拾八石八斗貳升六合

九ヶ領半

中郷

北側

安戸

神扇

一高七拾壹石貳升

堤通 往還 拾ヶ領

広戸沼村

深井 北側 庄内  
神扇

一高四百三拾貳石九斗貳升五合

堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 神扇

庄内

神扇村

一高三百三拾壹石五斗貳升壹合

堤通 往還 拾ヶ領

深井 神扇 庄内

高百七拾五石五斗九升六合

高百五拾五石九斗貳升五合

遠野村

九ヶ領半

中郷

北側

平須賀村

一高八百八拾六石五斗四升壹合

堤通 往還 拾ヶ領

深井 神扇 庄内

高四百貳拾石七斗壹升七合三勺

高四百六拾五石八斗貳升貳合六勺

九ヶ領半

中郷

北側

安戸村

一高六百三拾六石貳斗三升六合

堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 中郷 倉松

安戸 庄内 深井

上戸村

一高貳百貳拾六石四斗四升四合

堤通 往還 拾ヶ領

上戸村

九ヶ領半 中郷 倉松  
安戸 深井 庄内

一高三百式拾石三斗五升五合 長間村

堤通 往還 拾ヶ領  
深井 庄内 北側  
神扇

一高百八拾四石四斗五升七合 平野村

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 神扇  
庄内

一高百九拾四石三斗九升 中野村

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 神扇  
庄内

一高四百式拾石壹斗七升五合 下吉羽村

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 神扇  
庄内

一高百貳拾六石九斗九升三合 上宇和田村

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 神扇  
庄内

一高六百式拾六石八斗三升七合 木立村

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 神扇  
庄内

上郷村々

一高三百六拾壹石三斗六升四合 神明内村

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 庄内

高貳百拾六石貳斗六升 安戸 倉松 神扇

一高貳百六拾五石壹斗四升五合 吉野村

堤通 往還 拾ヶ領  
九ヶ領半 中郷 深井  
倉松 安戸 庄内

一高貳百八拾七石壹斗四升九合 天神島村

堤通 往還 拾ヶ領  
深井 庄内 倉松  
安戸

高百五拾式石三斗四升二合 九ヶ領半

高百三拾四石八斗七合 中郷 北側

一高二百式拾四石八斗四升壹合 大島村  
堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 深井 倉松  
安戸 庄内

高二百石  
高二拾四石八斗四升一合  
南側  
中郷

一高四百貳拾九石九斗九升七合四勺  
堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 深井 倉松  
安戸 庄内

高二百貳拾九石九斗九升七合四勺  
高百石  
南側  
中郷

一高八百三石八斗七升九合壹勺  
堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 南側 深井  
倉松 安戸 庄内

一高貳百九拾八石三斗五升四合  
堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 南側 倉松  
安戸 庄内 深井

一高千三百拾七石五斗五升八合  
堤通 往還 拾ヶ領

九ヶ領半 深井 倉松  
安戸 庄内

高三百七拾三石三斗四升七合  
高九百四拾四石貳斗壹升

南側  
中郷

上高野村

一高五百五拾四石貳斗六升四合  
堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

一高三百六拾壹石九斗貳升壹合  
内

高百七拾石八斗六合 同村新田  
組合三人

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 倉松

安戸 庄内

一高貳百八拾三石壹斗四升九合  
堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

一高貳百七石壹斗五升七合  
内

堤通 往還 拾ヶ領  
北側 深井 倉松

安戸 庄内

一高百八拾石七斗八升  
堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

南側  
中郷

松石村

上吉羽村

権現堂村

内国府間村

高須賀村

一高六百七拾九石三斗三升三合八勺

千塚村

堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

高百七拾五石七斗三升七合

北側

溜井直引

高三百三拾九石三斗四升

九ヶ領半

一高貳百七石八斗貳升九合貳勺

圓藤内村

堤通 往還 拾ヶ領

北側 安戸 庄内  
深井 倉松

一高三百八拾貳石三斗五升四合

下川崎村

堤通 往還 拾ヶ領

深井 倉松 安戸  
庄内

高貳百六拾貳石三斗五升四合

北側

高百貳拾石

溜井直引

九ヶ領半

一高六百拾八石四斗四升九合

西大輪村

堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

一高貳百八拾貳石五斗貳升八合

外野村

堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

一高八百八拾石六斗七升五合

東大輪村

堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

一高貳百六拾貳石七斗八升貳合

栗原村

堤通 往還 深井

一高三百九拾九石六斗貳升九合

上川崎村

堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

一高三百六拾七石六斗五升四合

牛村

堤通 往還 拾ヶ領

北側 深井 倉松  
安戸 庄内

一高五百拾五石七斗六合

中川崎村

堤通 往還 拾ヶ領

深井 倉松 安戸  
庄内

一高貳千八拾石三斗五升貳合

幸手宿

高千四拾石壹斗七升六合

拾ヶ領 倉松 安戸  
庄内

高六百九拾三石四斗五升六勺

堤通り

深井

高四百拾貳石貳斗八升

九ヶ領半

高貳百六石壹斗四升

馬之助町分

中郷

高八百三拾三石八斗三升四合

北側

諸々其人足斗諸色者除御入用

御普請之節者諸色共ニ惣高江懸る

一高八百五拾六石三斗壹升六合

八甫村

拾ヶ領

深井

堤通り

水防

外二

堤通 往還 北側

安戸 倉松 庄内

右五ヶ所者諸色斗リ組合ニ入

一高百拾石七斗壹升三合

外国府間村

是者高須賀村堤外往還普請

之節斗リ組合其外幸手領ニ

組合掛る

四ヶ村落組合

一高千百貳石九斗七升七勺

此村訳ヶ

一高貳百七拾六石貳斗八升九合

並塚村

一高四百貳拾七石貳斗八升壹合七勺

才羽村

一高貳百石

蓮沼村

一高百九拾九石四斗

大塚村

南側用水路

一堀長六千九百四拾四間

但本間六千三百四拾三間

堀幅九尺

上高野村以下より

高八千百五拾壹石貳斗六升

但 百間ニ付

長八拾五間六分

一長三百拾九間三尺

上高野村

一長貳百五拾九間貳尺

下野村

一長五拾九間五尺

才羽村

一長百七拾壹間壹尺

大島村

一長四百九拾六間

杉戸宿

一長貳百八拾貳間貳尺

茨島村

一長三百九拾三間五尺

並塚村

一長六百八拾八間

下高野村

一長四百七拾六間壹尺

倉松村

一長千八百六拾五間

堤根村

一長六百六拾七間壹尺

清地村

一長四百九拾七間

本郷村

一長五百三拾五間

小淵村

一長百拾間五尺

不動院野村

一長百九拾七間式尺

八町目村

右之通浚丁場割合取極メ

安永二巳年三月九日

此後書入相改有之書之

權現堂川通り

水防人足 割賦

明表

一堤長五千八百九拾五間

此人足千式百五拾人

但 高百石二付

長拾間二付

五人掛リ

式人掛リ

一明表四千六百俵

但 高百石二付

拾壹表半

右之通御普請役鶴田初三郎様上高野  
村ニ御詰被遊相極リ申候

安永元辰年

本川俣井筋間敷改

本川俣塚下より

長千式百間

地藏橋迄

同橋より

志領橋迄

同橋より

上羽生迄

同所より

下羽生迄

同所より

中橋迄

同所より六兵衛之

前橋迄

同所より

上手子迄

同所より

中手子迄

同所より岡兵衛前

野島橋迄

同所より寺貝

下毛谷二ツ目橋迄

同所より

不動岡村橋迄

同所より

三ツ又橋迄

同所より

小浜橋迄

同所より

篠崎迄

同所より

大桑迄

長式百七拾四間

長式百拾間

長百七拾八間

長百九拾八間

長百九拾八間

長百九拾八間

長三百八拾間

長五百六間

長七百五拾六間

長五百四拾間

長七百式拾八間

長五百拾式間

長八百拾間

長九百四拾間

同所より 長千三拾八間

島川落合土手迄

同所より 長式百四拾間

川口店前迄

此間少し訳り兼る

中川崎より 長五百七拾式間

青毛弁天橋迄

同所より 長三百式拾間

両川落合迄

同所より 長百七拾間

上高野村坊上迄

惣々長老万百拾間

上戸村掛渡井組分

一高三千五百八拾九石壹升九合九勺

内 千六百人拾四石壹斗七合九勺

千九百五石式合

此村訳ケ

一高式百式拾六石四斗四升四合

一高四百式拾石七斗壹升七合三勺

一高六百三拾六石式斗三升六合六勺

一高百七拾五石五斗九升六合

一高六百式拾八石三斗八合

一高百四拾三石八斗九升六合四勺

一高式百六拾六石四斗八升六合

一高百式拾七石七斗四升三合

一高五拾五石八斗八升式合

本郷村

堤根村

上堤根  
不動院野

御伝馬杉戸宿定助郷

一高老万三千七百六拾四石

此村訳ケ

一高八百九石

一高式百式拾四石

一高三百拾式石

一高四百式拾九石

一高三百三拾壹石

一高式百三拾石

一高六百四拾三石

一高式百六拾五石

一高七百七拾九石

一高五百五拾八石

一高七百七拾七石

一高七百四拾式石

一高三百三拾石

一高三百九拾九石

一高六百四拾四石

一高千九百三拾三石

一高千四拾八石

幸手領

上郷 下高野村

上郷 大島村

上郷 下野村

上郷 茨島村

中郷 遠野村

中郷 上戸村

中郷 安戸村

中郷 吉野村

下郷 清地村

下郷 倉松村

下郷 才羽村

下郷 並塚村

下郷 蓮沼村

下郷 大塚村

下郷 上堤根村

下郷 同本村

下郷 佐左衛門村

内 百拾石

新田

一高百貳石

向 蓮谷村

一高八百三拾三石

向 須賀村

一高八百拾八石

向 糸原村

内 三百九拾四石

東

四百貳拾四石

西

一高三百拾六石

向 中島村

一高八百六拾貳石

百間村

内 三百十六石

本村

一高三百八拾石

向 中村

分水三ヶ所長延五百五拾間

一千三拾五間

杉戸宿

千貳拾五間

御仕用帳通

分水貳ヶ所長延三百間

一高六百七拾四間

清地村

六百六拾間

御仕用帳通

分水五百間

一千貳百九拾六間

堤根村

千貳百貳拾五間

御仕用帳通

分水千五拾間

一四百八拾間

本郷村

四百五拾四間

御仕用帳通

分水五百間

一九百拾七間

小淵村

内 六百拾七間

本郷村境より関宿

六百六間

往還石橋迄

三百貳間

石橋より八丁目村境迄

内 貳百九拾貳間

分水四百間

御仕用帳通リ

南側用水路

子六月中出水二付御入用御普請御仕用

帳通り惣間数合

六千貳百六拾間

本間改六千五百三拾貳間

一三百四拾壹間

上高野村

分水百三拾間

御仕用帳通

三百三拾合間

一六百四拾七間

下野村

六百四拾貳間

御仕用帳通

分水なし

一貳百七間

下高野村

千拾四間

御仕用帳通

分水三ヶ所長延五百五拾間

一千三拾五間

杉戸宿

千貳拾五間

御仕用帳通

分水貳ヶ所長延三百間

一高六百七拾四間

清地村

六百六拾間

御仕用帳通

分水五百間

一千貳百九拾六間

堤根村

千貳百貳拾五間

御仕用帳通

分水千五拾間

一四百八拾間

本郷村

四百五拾四間

御仕用帳通

分水五百間

一九百拾七間

小淵村

内 六百拾七間

本郷村境より関宿

六百六間

往還石橋迄

三百貳間

石橋より八丁目村境迄

内 貳百九拾貳間

分水四百間

御仕用帳通リ

清地村内

一往還長七百四拾間半

掃除丁場

内

長六拾三間

新町

土橋長五間

幅式間

百五十九間

堤根村入会

堤根境より

長百八拾五間

長武百貳拾九間

長百六拾七間

長百三十間

佐左衛門村

清地村

倉松村

神扇村

村内杉戸宿境迄拾八間余余間

有之此分百間ニ付貳間半つゝ

割込べし

文政十三寅年

羽生領門樋

島中川辺悪水落騎西領故障之願出写

向川辺

八月

(表紙)

「 文政十三寅年

羽生領門樋

島中川辺悪水落騎西領故障之願出写

向川辺

八月

乍恐以書付奉願上候

武州埼玉郡騎西領

御料

組合七拾八ヶ村

私料

外巻ヶ村惣代

山田茂左衛門当方御預所

同州同郡原村

願人名主小源治

池田甲斐守知行所

同州同郡百間西村

同 新右衛門

曾根孫兵衛知行所

同州同郡南大桑村

同 岡右衛門

悪水落堀新規御模様替御差止願

右惣代共一同奉申上候、私共組合悪水大落古利根川之儀者、当領用悪水九拾七ヶ村ニ而三拾老堀一圓古利根川江、往古より悪水落来候処、当川之儀者、葛西拾ヶ領用水堀之処、近來利根川押埋床高二相成候二付、多年右井筋利根川砂押入高埋ニ相成候二付、其上連々川幅狭年頃水行不定、悪水相湛村々水腐難儀仕候而、追々川幅切広仕度川幅御定杭奉願上候、以則当春御建添被成下候之儀ニ而百姓役自普請切広度奉存候得共、困窮村々自力難及難儀至極罷在候、然処此節御普請役市村宗四郎様より幸手領村々江被仰渡候者、島中領悪水は幸手領権現堂村地内江新規御堀割悪水落埋込被仰付、北側用水

路へ御引入候積り、向川辺領悪水ハ羽生領間口村地内先年御取潰相成候字十王塚右敷江新規以樋御伏込、同領悪水之分羽生領悪水落字島川江御引入二付、同領北大桑村地内御伏込有之候門樋ハ八甫村地内字蛇田堤江御引下御伏込同村地内御伏込有之候、葛西領進口東塚御取込二相成、右向川辺羽生領悪水ハ、島川門樋堤御堀割葛西拾ヶ領用水川口村地内新古両塚江御引入被遊候而、差障之有無不申上旨幸手領物代共江被仰渡、村々難儀仕候趣隣領之儀二而、小前末々迄風聞承知仕一同驚人嘆息仕何分二も、御愁訴申上其様依之不及凶事奉申上候処、間口村地内十王塚より羽生領悪水落来候処、悪水流行無之願而、右塚より向川辺領村々悪水島川江落入候様二相成、難儀之趣を以御取潰二相成、右塚門樋之場所江御伏込被仰付候而ハ、利根川押埋り候処近来満水之度每逆水吐、門樋堤御困大堤危其時之切所二も候及処、村々出情水防仕候処、八甫村地内騎西領持添字宝泉邑迄脇左右地成之場所、去ル秋出水二而珠之外破損仕候間此段奉願上候、悉危難場所ゆえ当春御入用を以御普請被成下候儀二御座候処、門樋下ヶ十王塚御取立式ケ領悪水御引入二相成候而ハ、利根川通満水毎向川辺領堤通万一切所出来罷候節ハ向川辺領地高く当領地内ハ低大造高低之処二候得者当領堤可相保様無御座候、数ヶ領水入地先村々ハ亡所流失家等出来仕候儀者眼前之儀二而安心不仕、且又格別之出水二無之筈悪水落兼候而午迄も私共領内水腐損年々内損多く、去丑年御勘定山田勝之助様免直御回村之節、田方耕地於而御案内仕候村々多々御座候儀二而連々困窮仕候処、新規式ケ領悪水加水二御引入二相成且八甫村地内東塚御普請二相成候而者、式百十日後用水不用二付本川俣村元塚御へ切有之候得共、川口塚之儀も御へ切二相成候御仕来り二も御座候処、其後大雨満水等有之候節者、水袋二相成一向悪水落方無御座右堤繞村々処作仕付等も出来兼、水腐可相道様無御座誠二一同難儀至極二有之候、殊二天明五巳年松伏村閑枿脇増林村地内字新遠堤洗堰壺ヶ所、年々堰所二而床高二相成床下之儀並二同村地内切流場壺ヶ所、川床唯切来候儀を地元村二而故障仕候故、新方領下三ヶ領より地先右増林村相手取奉出訴願之通二御裁許被仰付候儀二而、其四里程水下之方二御座候得共、切流場少々床高二而悪水相湛難儀仕候儀二御座候得共、此度新規御模様替被仰付候而者田高より悪水溢儀儀二而、百姓相続相成兼難儀嘆敷奉存候、且又去ル享和元酉年向川辺島中式ケ領悪水八甫村地内より、上川崎村地内江堀積願人有之其節御普請役川奈作右衛門様・和田惣藏様御回村数日御取調御座候処、私共領内幸手領其外数ヶ領難儀之趣差障り奉願上御聞濟二相成儀御座候処、此度ハ右式ケ

領悪水大落堰江御引入二相成容易不成、難儀至極二奉存候而幾重二も御模様替之儀厚御賢察を以御差止メ被仰付被下置度奉願上候、何卒以御憐愍百姓相続相成様奉而奉願上候、右願之通り被仰付被下置候ハ、私共領内者勿論数ヶ領莫大之御救二而難有仕合奉存候以上

武州埼玉郡騎西領

御領

組合七拾八ヶ村

私領

外壺ヶ村

山田茂左衛門御代官所

佐野豊前守知行所

同州同郡

原村

池田甲斐守知行所

同州同郡

百間西村

黒田豊前守領分

同州同郡

葛梅村

山田茂左衛門御代官所

一ツ橋 御領知

同州同郡

除堀村

設楽中務知行所

加須村

馬内村

礼羽村

戸ヶ崎村

榊原百之助知行所

山本金吾 知行所

同州同郡

和戸村

清水

領知

同州同郡

爪田谷村

伊奈友之助御代官所

平岡岩見守知行所

同州同郡

小久喜村

伊奈友之助御代官所

同州同郡

紫山村

酒井但馬守知行所

同州同郡

青毛村

一ツ橋領知

榊原百之助知行所

小笠原主計知行所

山本金吾知行所

同州同郡

高岩村

天野三郎兵衛知行所

同州同郡

寺塚村

山田茂左衛門御代官所

堀田相模守領分

森川伊豆守知行所

松波貞太郎知行所

同州同郡

百間村

水野伯耆守知行所

水野左右衛門知行所

同州同郡

久下村

徳永権之助知行所

同州同郡

篠津村

一ツ橋領知

曾根孫兵衛知行所

曾根孫三郎知行所

片山清十郎知行所

鈴木与八郎知行所

平岡三郎兵衛給地

御朱印

鷲宮神領

同州同郡

江面村

横田筑後守知行所

渡辺半兵衛知行所

同州同郡

実ヶ谷村

一ツ橋領知

森川与五左衛門知行所

同州同郡

太田袋村

中務金右衛門知行所

山本大膳知行所

佐藤兵三郎知行所

野間金右衛門知行所

八木譚次郎知行所

石谷隼人知行所

同州同郡

六万部村

御手洗伊右衛門知行所

野々山新兵衛知行所

太田寿庵知行所

門奈礼左衛門知行所

山田岩五郎知行所

下山弥三郎知行所

鈴木忠太郎知行所

中根兵右衛門知行所

同州同郡

上清久村

水野伯耆守知行所

同州同郡

花崎村

堀敷馬知行所

曾雄市之丞知行所

深尾藤太郎知行所

疋田兵庫知行所

同州同郡

大寶(室)村

多門詮之丞知行所

疋田兵庫知行所

同州同郡

久本寺村

土井大炊守領分

秋元但馬守領分

荒尾平八郎知行所

神田糸之丞知行所

小林勝藏知行所

同州同郡

上高柳村

宇都野金右衛門知行所

佐橋兵三郎知行所

山本大膳知行所

野間金右衛門知行所

石谷隼人知行所

八木譚次郎知行所

多門傳八郎知行所

中山左京知行所

同州同郡

辻村

平岡岩見守知行所

同州同郡

下清久村

山田茂左衛門御代官所

平岡岩見守知行所

同州同郡

所久喜村

平岡岩見守知行所

同州同郡

新井新田

山田茂左衛門御代官所

堀田相模守領分

同州同郡

蓮谷村

下山弥八郎知行所

中根兵右衛門知行所

門奈礼右衛門知行所

山田斧太郎知行所

前田市左衛門知行所

前田五左衛門知行所

野々山新兵衛知行所

同州同郡

上内村

中嶋斧太郎知行所

金田斧次郎知行所

三宅勝太郎知行所

同州同郡

船越村

森川鎌三郎知行所

高木善之助知行所

戸田源一郎知行所

同州同郡

国納村

大岡主膳正領分

同州同郡

千駄野村

阿部四郎五郎知行所

富永孫六郎知行所

同州同郡

南篠崎村

小笠原権九郎知行所

小笠原主計知行所

同州同郡

常泉村

永井右京知行所

同州同郡

小濱村

平岡岩見守知行所

松平万三郎知行所

三宅惣太郎知行所

森川銚太郎知行所

同州同郡

上早見村

永井右京知行所

中山大助知行所

三宅勝三郎知行所

同州同郡

油ヶ井嶋村

山田茂左衛門御代官所

堀田相模守領分

細井宗左衛門知行所

渥美九郎兵衛知行所

同州同郡

久米原村

平岡右膳御代官所

同州同郡

下大崎村

曾根内匠知行所

曾根孫兵衛知行所

會根孫三郎知行所  
片山清十郎知行所  
小林金次郎知行所  
平岡三郎兵衛知行所  
同州同郡  
南大桑村  
神領鷺宮  
大内美作支配  
同州同郡  
鷺宮村  
一ツ橋領知  
土岐豊前守知行所  
南条権之丞知行所  
能勢権之丞知行所  
目賀田鉄之助知行所  
同州同郡  
台村  
伊奈友之助御代官所  
同州同郡  
武助新田  
大岡主膳正領分  
同州同郡  
岡泉村  
一ツ橋領知  
同州同郡  
河原井村  
高木善之助知行所  
森川鎌三郎知行所  
戸田源一郎知行所

同州同郡  
太田吉羽村  
平岡岩見守知行所  
同州同郡  
下早見村  
川副勝三郎知行所  
同州同郡  
白岡村  
大岡主膳正領分  
平岡岩見守知行所  
徳永権之助知行所  
狩野晴川知行所  
同州同郡  
樋の口村  
三上筑前守知行所  
同州同郡  
西村  
一ツ橋領知  
同州同郡  
上野田村  
下野田村  
太田新井村  
西久米原村  
栗原村  
疋田兵庫知行所  
万年七之助知行所  
同州同郡  
割目村  
戸田源一郎知行所

森川鎌三郎知行所

高木善之助知行所

同州同郡

国納村

黒田豊前守領分

小笠原権九郎知行所

成瀬九兵衛知行所

中妻村

前田五左衛門知行所

武蔵源八郎知行所

前田市左衛門知行所

同州同郡

今鉢村

山田茂左衛門御預所

池田甲斐守知行所

同州同郡

中嶋村

池田甲斐守知行所

永井鉄弥知行所

小笠原主計知行所

同州同郡

須賀村

安藤力三郎知行所

同州同郡

下高柳村

清水領知

嶋田弾正知行所

同州同郡

久喜新町

古久喜村

山田茂左衛門御預所

清水領知

嶋田弾正知行所

同州同郡

久喜本町

野久喜村

黒田豊前守領分

同州同郡

水深村

川口村

清水領知

同州同郡

中曽根村

堀田相模守領分

同州同郡

青柳村

新井鞆負知行所

同州同郡

野牛村

伊奈友之助御代官所

同州同郡

梅田村

内牧村

栢門村

山田茂左衛門御預所

永井鉄弥知行所

同州同郡

百間東村

土井大炊守領分

同州同郡

小林村

右七拾九ヶ村惣代

山田茂左衛門当分御預所

同州同郡原村

願人 名主 小源治

池田甲斐守知行所

同州同郡百間西村

願人 名主 新右衛門

曾根孫兵衛知行所

同州同郡南大桑村

〃 岡右衛門

御奉行所様

乍恐以書付奉願上候

武州埼玉郡羽生領門樋組合三拾三ヶ村・並同州同郡向川辺領拾三ヶ村組合・同州葛飾郡島中川辺領拾三ヶ村組合・右三ヶ領悪水落之儀者、往古より利根川並権現堂川江吐来候処、四拾八年以前天明三卯巳年浅間山焼砂路二来、連々川岸通り床高二押埋近来至候而者、弥増川通り一躰凡七分通程高〇〇〇附寄統候処、定〇水面悉く〇〇〇流行いたし格別之大〇無之候而も、堤間川内敷満水候ニ付羽生領之儀者、文政三辰年より去丑年迄拾ヶ年之内、五度門樋〇〇〇切入必死之水損困窮仕、且又向川辺之儀ハ領内中新井村地内御普請所、悪水吐込樋式搜有之利根川通江落来候、連々落方悪敷罷成近来二至候而は、澗川〇中等之外逆水勾配坑ニ、当二月二日込戸建切候外一回茂戸開仕候儀一切無之候、殊ニ成行候ニ付領中堤際通り少々之〇傷之外如漸水相湛葭菰等生候、領内七分通り余荒地ニ相成年々潰百姓多く離散仕、村役人共差留候得共、耕作可仕御

田地壹歩茂無之者共其上住家水入ニ相成候故、無是非当年之儀も追々ニ〇〇〇候得者乍恐〇〇拾三ヶ村不〇致〇〇候〇無御座悲嘆仕罷在候、且又向川辺領並島中川辺領悪水落之儀者、権現堂川通りへ吐来候処前書奉申上候通り、川〇定水面高く候ニ付、領内中里村地内御普請所悪水吐込樋式搜有之候処、当一月十一日込戸立切其後一月六日、又は一夜半ニ込戸開願而一日程之間を以低場湛水丈四五尺之内、漸四寸程落候得友数月立切罷有候故、増水追々相〇田方之儀者皆以葭菰生罷成、畑方之内播揚田ニ〇〇植付候分一圓水冠、畑方大豆・粟・稗・麦等水腐致〇〇〇當も無之成行、堤縁通り格別高場畑地少々相残り、〇〇於往來ニ以少々之農業仕候、漸ニ而近來之内向川辺領同様潰百姓及退転候之外無御座候〇申上候通り、三ヶ領中〇置と〇〇年々夫喰差支水損困窮迫り、悲嘆之余り〇来り候、種々相談仕候処、当度市村宗四郎様・葛西衛平様門樋堤之一同御分見、堤高低御水盛り被成下候通り、川〇水面高迄も三ヶ領内郷悪水吐可落様無御座然処、八甫村地内北側用水路〇田高之節者、備〇宇東込樋取水のため御普請御座候処、〇拾ヶ年来〇島川之分〇樋ニ相成儀一切無之近來ハ、例年加用水ニ相用坑ニ当度〇御見分之節込戸皆明ニ致之、羽生領中悪水島川より勾配急流を以引入、北側用水者勿論同所より逆水登り、川口村地内宇葛西用水字新古込式搜ニ而加用水ニ引取候、以相違無御座候、依之私共三ヶ領内篤と評議相談仕候処、八甫村地内〇北側用水下字蛇田堤より、高柳村地内宇大池之堤迄僅七拾五間御座候場所江、門樋模樣替より下被成下御座候得者、當時之門樋〇〇〇〇程之所以来不用ニ相成候ハ、〇葛西新古込〇當時之門樋堤江悪水吐込樋御伏込、葛西領組合右東込樋用水引来候都合ニ而加用水ニいたし候、〇〇以向川辺領悪水吐込模樣替之儀ハ、古門を伏越羽生領間口村地内元字十王込場所江、落水吐込門樋伏込模樣替被成下候得者、前々羽生領ニ而相用當時堤堰荒改候、堀筋式百間浚立候得者多分之勾配ニ御座候ニ付、忽向川辺領内水落切候所無之、羽生領悪水一圓葛西用水筋加用水ニ日数不掛〇式ヶ領へ干上り可申候ニ付、葛西領中ニ而悪水相成迷惑之節者、用水御差配之掛様御指図を以込戸数日立置候共、一躰内水落切候之儀騎西溜湛然ハ御座有間敷、且又島中川辺領中悪水吐込模樣替之儀者中里村込江、悪水吐込堀権現堂川逆水溜閘粹被仰付候上者、島川を伏越幸手領内国府間村地内江、悪水吐込樋伏込夫より権現堂村地内北側用水路迄小堀水吐立、此度御普請役様御見分御水盛被成下候処、島中川辺領中地内より幸手領田方五尺程地窪ニ相当候得者、小込小堀ニ御模樣替被仰付而も大造之勾配急流を以、関中領内落水落切候得者

一滴も可落用水□用□□□一切無御座、□候得者□□之節悪水ニ相成幸手領内迷惑之節者、右葛西用水路御差配同用御差函を以、数日中里村以戸建置候而も皆干上致置候上者、水腐仕憂ハ御座有間敷尤北側組合加用水ニ相成候節者、逆水留閘杵明払候而も、中里村以樋建置□□□少之茂差支無御座、幸手領加用水ニ相用候□□二而、少之茂故障之儀ハ有之間敷と奉存□□願入□合仕候、右新規之儀迷惑之趣少々永続難相懸儀ニ御座候間、何卒格別之御憐慰水難御救之御慈悲ヲ以、三ヶ領一同御願之通悪水吐模様替被仰付被成下置候ハ、離散仕候者共相当呼返し当年中二者、水湛荒地之場所立返リ御年貢上納永久御田地相続仕候儀、广大之御慈悲難有仕合奉存候、乍恐落絵図面相添幾重ニも御願奉願上候以上

武州埼玉郡

羽生領門樋堤組合

三拾三ヶ村惣代

文政十三寅年七月

同州同領向川辺領

拾三ヶ村惣代

同州葛飾郡島中川辺領

拾三ヶ村惣代

御奉行所様

文政十三寅年

羽生領外式ケ領悪水路模様替一件控

十一月

羽生領外式ケ領悪水路模様替之儀奉行所江、願出其組合より故障申立候由ニ有之候処、此度右三ヶ領場所御勘定並ニ自分共糺方被仰付候ニ付、明十一日より見分取掛リ候間可得其意、尤見分場所三領分見及度儀も有之候ハ、其方共罷成立会可申候、且又追而其組合地先見分致候儀も可有之候間、其旨相心得組合村江可申達置候、勿論其組合願

出之外申立候儀も有之候ハ、回村先江罷成可申立候、此状銘々致請印不限昼夜刻付を以、早々順達留リ村より可相返候

以上

御普請役

大島村

猪俣英太郎

吉右衛門

河西衡平

上吉羽村

村上貞助

弥右衛門

樋籠村

左太郎

乍恐以書付奉願上候

幸手領五拾三ヶ村名主共乍恐申上候ハ、羽生領式ケ領より悪水路模様替之儀、御奉行所様江御願奉申上候ニ付、此度右場所去ル十一日より御見分候御掛リ、且又当領組合地先御見分可有之其段村々より、可達御用状之趣当領願惣代共より承知仕候処、尚又今般既ニ当領外国府間村・高須賀村・内国府間村・権現堂村地内御見分水盛り被遊候段、承知仕弥高入不願乍恐奉申上候ハ、当六月中御普請役市村宗四郎様より右三ヶ領悪水当領江加用水ニ落入候得者、勝手ニも可申候様御利解之趣之由ニ候得者、当領之儀者只今迄早魃之儀ハ稀ニ而悪水水湛年々難洪至極仕候、其路者江戸川通満水之節庄内古川江逆水押上当領悪水充分落兼、年毎之様水腐仕候村々多分有之候儀、尚又右三ヶ領悪水落込候而者領中一同水腐仕候儀者眼前之儀ト乍恐奉存候、既ニ去寛政年中御普請役門奈左右衛門様和田繁蔵様御掛リニ而、島中川辺領悪水路当領八甫村段々押割字宝泉寺前より中川口関所地内迄、分見御水盛被御遊候処、右之領申立御免御聞濟相成候得者、羽生領門樋御模様替之儀ハ北大桑村地内江御伏込無之候分ハ、権現堂川通リ切所口水路迄年々之間稀ニして、一度成てハ無之旨及承候処羽生領悪水逆水門樋去ル宝曆年中御伏込後同七丑年八甫村水押切安永元辰年同村地内押切、同九子年下吉羽村地内押切、天明六年八甫村・松石村・高須賀村・内国府間村・権現堂村・木立村右五ヶ村水押切、中ニも天明六年之儀ハ、木立村ニ而流死人七十五人有之候享和式

戊午権現堂村二而、家数八拾軒流失仕其度毎御府内迄も水入二相成、村々二而者田畑押流砂入之所多分出来、困窮仕候村其領是迄而縁共数度御免願御聞濟二相成、難有仕合二有之候処尚又此度前書四ヶ村地内江分見御水盛被御遊候得者、若模様替被仰付候而者、込も御田地相続相成兼領内一統必至至極罹仕候而、何卒格別之以、御慈悲を、之是迄通り右領縁御免御聞濟被成置候ハ、莫大之御仁慈と難有仕合二奉存候以上

武州葛飾郡幸手領

平須賀村

文政十三寅年十一月

名主 権内

外五拾式ヶ村

名主 連印

御掛り

御役中様

### 乍恐以書付奉願上候

武州・総州葛飾郡惣新田組上下・庄内領・小金領式拾八ヶ村惣代左之者一同申上奉候羽生領外式ヶ領悪水路御模様替場所御見分糺方之儀被遊候二付、権現堂村地内新規坎樋御伏込幸手領北側用水路加用水被仰付候而者、字庄内古川江悪水多相成左候得者、私共村々悪水落方差障二相成、村々水腐百姓相続相成兼嘆ヶ敷有之二付御慈悲を以庄内古川江悪水落来り不申様御手段被成下置様奉願上候処、右庄内古川江相高候水□□□等之儀申上候得ハ格別□□困窮之□□奉申上候而ハ、□取用難相成□被 仰付御吟味二付篤と内談仕候処庄内古川是迄之落□惣ベ、武州葛飾郡松伏領八子新田地内より川屋村地内迄凡千四百間之処、川敷拾間ニも新規小川江落被仰付候得者此上庄内古川江余篤之悪水少々落候共、悪水相高候程之儀も有之間敷、尤私共吟味二而領内相聞奉申上候儀二者無之候得共、右庄内古川落口中川筋江被 仰付候得者、庄内領低場村々迄も水落悪敷相成御目代□直り百姓相続も相成可申候、乍恐□□右之通り□□□悪水路被 仰付候得者、右式拾八ヶ村ハ勿論庄内古川悪水組合領々一統助ヶニも相成、□

□且又□之通り被 仰付候得者、江戸川より庄内古川江逆水も無之候得者、村々安堵仕其上庄内古川通り堤川□□御普請・諸色・人足等迄毎春相掛、且庄内領年々水腐之村々□□可申候間乍恐□□候得者、幸手領北側加用水余水庄内古川江少々落来候ハ、□□儀之筋無之候得共、右中川之水路ハ不被 仰付加用水之儀庄内古川江落来候而者、私共村々難立行難儀至極二付、右加用水之儀何分とも御免被成下候様奉願上候、右願之通り□□被成下置度候得者、難有仕合二奉存候以上

文政十三寅年

文政十三寅年十一月

### 羽生領外式ヶ領悪水路一件故障願出写

浅右衛門控

### 相願申一札之事

一此度羽生領門樋模様替並川辺島中式ヶ領より当領江悪水落方之儀領中村々難儀至極二付、一統二当七月 御奉行所様江御免御願被出候得共、尚又此節御普請役様より右惣代共御呼出し御利解被仰聞候趣、村々江被申聞然二三ヶ領並当領地内迄場所御分見御水盛被遊候二付、証文早速御回村先江願出可差上候得共、容易不成儀二付尚又 御奉行所様江逐一願儀之趣御願申上候、然二村々一同評議□合点仕□方願惣代二相願申候間右一件之儀何分二茂願入候、尤願之趣意殊之外相違致候儀も御座候ハ、領中相談之上御取斗可被成候、且又願雜用之儀者是迄之通り取極、其時々御改革大小惣代並触継方二而村々取立相渡可申候、尤上郷村々之儀者領中相談之上文化十丙年御免願之振合を以、無相違差出候筈取極申候処相違無御座候依之願一札入置申処仍如件

文政十三寅年十一月

幸手領 都合五拾三ヶ村

乍恐以書付奉願上候

一武州葛飾郡幸手領左之村々名主・年寄・百姓代一同奉申上候、羽生領外式ヶ領悪水路並門樋御模様替之儀者、私共組合村々以惣代先頃、御奉行所様江故障之趣意奉願上候処、右場所御見分御糺方として被遊候趣私共願之儀段々申立候得共、一様二御免相願候趣意二相当り御定掛場内其後者願之趣御取用難相成、右願書之外実二難渋之始末有之候ハ、可申立旨被 仰渡難有仕合ニ奉存候、右者組合村々一同打寄評議仕候趣乍恐左ニ奉申上候

一前書之悪水路御模様替内国府間村地内字巡礼曲輪江新規坎樋御伏込悪水北側用水路江堀継私共領中加用水被 仰付候趣二者御座候得共、前以奉申上候通り権現堂堤通り新規御伏込之儀何様ニも村々安心不仕二付、弥々評議仕候処利根川北縁より関宿領出用部村地先之処ハ、年々切所出来水行外国府間村地先より権現堂村地先江押掛り候二付、羽生領外式ヶ領悪水落方無御座相見へ申候間、右南口村地先特別堀割外国府間村地内より御手厚ニ込御普請被 仰付候、御定候ハ、利根川通り漸く趣ニ相成り幸手領上吉羽村地先水行差向ひ、権現堂村地先口高ニも相成可申候、其内江三ヶ領悪水引返し上吉羽村地内ニ而利根川江落入候様相成候ハ、余程勾配も有之悪水落方差支之儀も有之間敷存候得共、右悪水私共領中江御引入置御座候共、三ヶ領悪水相流不申権現堂同堤通御保方も宜敷以領内安心仕儀ニ御座候、前書之通り之趣ニ願上候

一前書之通奉願上候得共、私共口見越し候儀ニも有之御取用ニも相成不申、是非共三ヶ領悪水内郷用水路江御引落ニも相成候儀ニも御座候ハ。北側用水路筋ニ而ハ当領安戸落・神扇落・字四ヶ村落其外堀々悪水打流難渋至極仕候儀相違無御座候得共、御免願筋御取用難相成候儀御座候ハ、右堀々末水庄内古川筋是迄二郷半領丹後村ニ而、江戸川江落入在候場所御差止メニ被成下、同領上笹塚村辺より中川筋江新規御堀割被成下置候か、其口御口可仕場所御堀割被成下候而、庄内古川筋浚

御普請被 仰付悪水相流様被下置候ハ、私共組合村々難儀不仕様相成可申候と乍恐奉申上候且又葛西用水路之儀者、是又悪水御引落ニ相成候へ共、当領倉松落堀悪水差支難儀至極仕候間、右堀只今迄之落合松伏領樋堀村より下方大凡千五百間余堀敷此間ニ御堀継御入用を以御普請被 仰付候ハ、是又悪水差支候儀も有之間敷候と奉存候一利根川通之儀先年口川漸相違仕栗橋宿より権現堂堤江、水行者口口口夫より関宿御関所前迄、堤曲り角へ格別之水勢押返し候儀も有之、殊ニ御関所前者口川幅式拾五間口口口ハ無御座、右之内一圓水袋ニ相成大雨出水之節者水行先滞り、外国府間村地内日光往還高須賀村堤通之内水湛ニ相成往還之旅人ハ勿論御用向御通行様迄も、御差支ニ相成儀者不及申上候処、羽生領門樋御模様替ニ相成候而、其砌出水開之場所無之様相成満水干落も掛取申間敷、就而者権現堂堤通り水防人足等村々難渋至極仕候二付、先達而領々惣代を以奉願上候通り、日光往還中田新田字口ノ赤堀割分水之願之通り被 仰付候ハ、門樋下御普請御模様替之儀被 仰付候而も、私共領内差支有之間敷と奉存候

右者此度場所御見分御糺し方願出之外、実々難渋之儀被在候様被 仰渡候、組合村々評議仕候趣乍恐奉申上候、右願之通り私共領内悪水捌方御普請被 仰付被下置候様奉願上候、勿論私共願之儀御取用無之候、三ヶ領悪水御目論見之通御模様替被 仰付候而者、領内難渋至極仕候儀相違無御座候間、何卒 御慈悲を以新規御模様替之儀者、幾重ニも御免被成下置候様奉願上候、右願之通御聞濟被成下置候ハ、組合村々一同相助り難有仕合ニ奉存候以上

文政十三寅年

幸手領

十一月

村々

連印

御掛り

御役人中様

前書之通奉願上候処、御普請奉願候口口口不容易場所二付御取用難相成候得共、組々村々熟慮評議仕申立候二付、願出之儀者書面之旨被 仰渡承知奉畏候、依之継添御座候印形奉差上候以上

右幸手領

四拾貳ヶ村惣代

不動院野村

名主 織右衛門

樋籠村

同 佐太郎

大塚村

同 栄蔵

中川崎村

同 吉左衛門

佐左衛門村

遠野村

平須賀村

神扇村

中野村

平野村

広戸沼村

並塚村

才羽村

大島新田

長間村

右拾壹ヶ村者別添ニ願出候以上

□□□□御伺ニ罷出候間□□□□□□□□、□□□□□□被遊候、此節三ヶ領悪水路御  
模様替之儀ニ付、御進達御願可申上□□□□出府□□□□を以相願申處、領々ニ而御  
進達を□□御取可申儀と奉願上候間、御普請者御地頭様江御伺申上尚又、  
□□限相願可申候、其節者日限之通御出府あられ候乍御世話此状刻付同様御進達留村  
より御返被成候

寅

十一月晦日

上下  
触継共

文政十三寅年十二月

羽生領外式ヶ領悪水路模様替故障願書写

拾壹ヶ村より

差上候控

清地村

浅右衛門

乍恐以書付奉願上候

武州葛飾郡幸手領之内才羽村外拾ヶ村惣代山田茂左衛門御代官所同郡佐左衛門村名主  
栄次郎・拓植五左左衛門知行所同郡並塚村同国次郎奉申上候、市村宗四郎様より羽生  
領北大桑村ニ有之候逆水門樋当領八甫村地内蛇田堤江下ヶ羽生領・向川辺領悪水葛西  
用水路江落入、島中川辺領悪水者権現堂川通当領内国府間村地内字巡礼曲輪御圍堤堀  
割込樋伏込、当領北側用水路堀抜下者庄内古川江落入候ニ付、故障之有無可申上旨被  
仰渡候ニ付、右門樋之儀者安永三・寛政七・享和元・文化十一・文政八故障之趣申立  
御聞濟之上御据置ニ相成候間御免被成下度、北側用水路者掘抜並葛西井筋江掘継落入  
候儀ニも、新規之儀者御差止メ被成下度段段領内一統当七月中故障願仕候處、定御懸り  
村々之儀ニ付御用席於場所ニ内御糺御座候節一旦差障り申上候儀、尚又見越故障奉願  
上候儀心得違之段被 仰渡候得共、願書御指留ニ相成帰村被 仰付候ニ付御差止メニ

以上

相成候儀者難有安堵罷在候処、先月中御勘定様・御普請役様方御出役被遊門樋場所替御囲堤掘割以樋伏込、当領北側用水路江掘継御普請御目論見之御様子二而、既二御丁張御水盛之上当領内外領々被召出御取調有之候二付故障申立候得共、難立候間水落方外手段を以相願候者格別之趣御了解被 仰聞候得共、外領々難洪二も相成当領逆も村々地利之高低二而、数日相談仕候得共決着無、依之惣代を以新規御模様替之儀御差止メ願上候得度御取用二不相成、彼是混雜之内小前騷立御勘定様・御普請役様方松伏村御旅宿江罷出皆御差止メ御願申立候処、右ハ先達而幸手領一同御奉行所江申立候、同様之儀二而逸々見越沙汰二付候得共、御差留被置候段被 仰渡夫より直様江戸表江罷出 御老中様・大御目付様方江、御駕籠訴駈込訴等之御差越御願仕候段重々奉恐入候得供、一躰当領之儀者五拾壱ヶ村式ヶ宿二而宇南側・中郷・北側と唱三用水有之、私共村々者右北側附組合流末二て領内中奥至る地窪之村二而平生共小雨二而も、字女戸・上扇雨落之水並右北側用水之儀者、権現堂川通堤附二而表川供水洩水右用水二落入悪水同様二相成、上郷村々高場よりハ水落重り左右江開キ、大雨之節ハ一圓二押来り水袋二相成権現堂川通六合余二も満水致候節ハ、庄内古川より逆水押揚年々水難不逃難儀罷有候処、此度御囲堤堀抜北側用水路江島中川辺領より多分之勾配有之候悪水落入被 仰付候而ハ、弥増水難脇前之儀逆も村々相続相成不申、尚々権現堂川通満水之節御囲堤江真水面突当り候水勢相馳メ候御仕法を以、幸手領外国府間村地内日光往還五・六町程低場御附被置、並羽生領悪水路江逆水為開候御趣意二而罷有候処、門樋場所替引下二相成候而ハ、御囲堤水の当致何共危く大切之御場所既二権現堂河岸之儀ハ、前々ハ数多之家数有之処、天明・享和之度水勢を以引崩之路二切所出来仕候処、只今御囲堤下より通船仕至而危難と存候間此度御免奉願上候、弥門樋ハ御普請二茂相成候ハ、幸手領百姓共人命二拘り候儀二付、立退キ候より外無之下領々御府内迄水入二相成候場所二而幾重二も皆御差止奉願上候、何卒以 御慈悲難儀之次第被為聞召訳御模様替御普請之儀者、皆御免被 仰付被下置候様奉願上候、右御聞濟被成下置候ハ、百姓永続相成未代之 御憐慰を奉而難有仕合奉存候以上

山田茂左衛門御代官所

武州葛飾郡

神扇村

佐左衛門村

大島新田

江戸沼村

同 御代官所

拓植五左衛門

酒井八十之丞 知行所

松下舎人

同州同郡

才羽村

山田茂左衛門御代官所

拓植五左衛門 知行所

同州同郡

並塚村

山田茂左衛門御代官所

岡野五百三郎

小出喜之助 知行所

松波庄兵衛

猪子英太郎

同州同郡

遠野村

山田佐渡守 知行所

鵜殿十郎左衛門

同州同郡

長間村

太田源三郎 知行所

鵜殿十郎左衛門知行所

同州同郡

中野村

新太郎左衛門

稻葉鑄之丞  
知行所

覚

原田雄次郎

土岐左近

松野長十郎

同州同郡

平須賀村

遠山左京知行所

同州同郡

平野村

右拾老ケ村惣代

山田茂左衛門御代官所

右

文政十三寅年十二月

佐左衛門村

名主栄次郎

拓植五郎左衛門知行所

並塚村

名主国次郎

一・永七拾貳文五分

一・永七拾貳文五分

一・永七拾貳文五分

但反二付

永百五十文積

是ハ右潰地畑四畝貳拾五歩相掛候御年貢分

一・永百貳十老文八分

但反二付

永貳百八十文積

永貳百八十文積

御代官所様

(表紙)

文政七年

清地村地内去未

水防場所築立割合帳

申

五月

是八潰地畑四畝貳拾五歩此高四斗三升五合掛り、並二御伝馬他掛り一式入用分

清地村

一・永貳十九文

但反二付五斗五升

相場老石之積り

是八新堤役田潰地十六歩へ掛り、御年貢米貳升九合

一・永十四文八分

但永貳百八十文

積り

是八潰田十六文此高五升三合掛り、御伝馬並二他掛一式入用分

一・金貳兩壹分也

但預け金分

是八右潰地田畑四畝貳拾五分、年々御年貢並二他掛り一式名主方二而相勤候儀二付、右金名主方へ預り置、年々割之利息ヲ以名主方二而、御払致候積り

右入用高

一・永八貫百三拾四文三分

但高老石二付

永壹文三分七厘

一・永七百五十三文五分

此金三分卜貳十文

倉松村

一・永壹貫貳十七文五分

此金壹兩卜百八十壹文

一・永八百七拾六文八分

此金三分貳朱卜十貳文

安戸村

請取

一・永四百十壹文

此金壹分貳朱卜貳百四十文

大島新田

請取

一・永壹貫四百三拾五文

此金壹兩壹分貳朱卜四百貳文

佐左衛門村

十二月貳十九日請取申候

一・永壹貫貳十七文五分

此金壹兩卜百八十壹文

並塚村

一・永壹卷九十六文

此金壹兩卜六百四十貳文

上堤根村

藏久

宮内

一・永壹貫五百七文

此金壹兩貳分卜四十六文

杉戸宿  
請取

右者清地村地内明神脇去未七月中水防之節、築立之場所之儀ニ付、当月朔日御立合御相談被下度、回状差出候処、御不参之御村方も有之候得共、御出席之御方ニ而御相談之上、前書之通り、割合仕候間右賃錢之儀、来ル当月二十日迄ニ御取立被下、杉戸宿小左衛門方へ御届可被下候、右之段御承知御印形被下、此者ニ御渡し可被下候、右得御意度如此御座候以上

申  
杉戸宿  
名主

五月四日  
小左衛門

倉松村  
名主  
直右衛門

大島新田  
安戸村  
佐左衛門村  
並塚村  
宮内株  
上堤根村  
蔵久株  
右村々  
御名主中

(表紙)

「 清地村地内出水  
防堤丈夫築組合議定書 」

清地村地内水防場所之儀、左之組合村々相談之上去ル文化元子年より文政七申年・弘化四未年迄近々堤防築立防方手配致置候処、八丁目・小淵・樋籠三ヶ村地内水防場所手薄ニ而、雨後之出水防方相保兼村々水損難儀ニ相成候ニ付、此度右三ヶ村防場所水難村々相談之上、小堤築立ニ相成候ニ付清地村地内之儀も、尚更も丈夫ニいたし危難之場所之新規堤等築立申致候得共、組合之内安戸・佐左衛門・並塚・大島新田・宮内・蔵久・上堤根八村之儀ハ、此度右三ヶ村地内築立場所ニ人足差出候儀ニ付、清地村地内之儀ハ倉松・清地当村ニ而築立可申、尤堤敷土取場凡畑耆反歩代永八貫文ニ相定候、組合高割合ニ致杉戸・倉松・当村より御取立日限触次第無違々出金差出可申候、且又杉戸宿水防築立場所之儀ハ、宿方ニ而相取立可申趣今般一同対談取極候上ハ、此後とも右ニ准し出水之砌早々駆付相防可申候、尚等閑之村も有之候ハ、此書付を以何様ニも御掛リニ被成候、依之議定致置候処如件

万延元年申年

大島新田  
組頭  
清重郎印  
安戸村  
名主  
弥五兵衛印  
佐左衛門村  
名主  
菊蔵印  
並塚村  
清蔵  
才羽村  
組頭

清左衛門印

上堤根村

名主

半左衛門印

倉久株

年寄

格吉印

倉松村

名主

八郎兵衛印

組頭

幸右衛門印

清地村

名主

彦右衛門印

名主

茂三郎印

杉戸宿

名主

彦助

一〓六百四拾石

一〓三百石

一〓千五拾石

一〓七百五拾石

一〓三百五拾石

一〓三百式拾石

一〓百三拾石

一〓千百石

安戸村

大島新田

佐左衛門村

並塚村

倉久株

宮内株

上堤根株

杉戸宿

おわりに

思えば長い道のりでした。

わが家の古文書解説をはじめて十年になり、その間古文書を前にして、くずし字用例辞典との首っぴきの毎日でした。

原稿用紙の升目が少しづつうまっていくにつれて、江戸時代がよみがえってくるようでした。

また江戸時代の歴史や、農民生活史なども勉強しました。

古文書のうち「羽生領門樋故障之願出写」は傷みがひどく、これからの保存が危ぶまれるようなのでコピーをとり、長文でむずかしいと思いましたが解説にふみきりました。

予定したわが家の古文書の解説は一応終わりましたが、更に解説をくりかえしてよいものにしたかと考えています。

ワープロの入力では大分苦労しましたが、こうして出来上がってみると、われながらよくやったなと思います。

解説を終えて

平成二年十二月吉日

深井滋男

弘化四未年八月改

去午年水防々切入用

取調二付此節改メ

一高五千九百四拾石

此訳

一高七百五拾石

一〓五百五拾石

壹ヶ宿

九ヶ村

清地村

倉松村

